

今から始める院試対策

2024年12月2日 13:00 – 13:20

担当LS：工学研究科

電気電子情報通信工学専攻
博士前期課程1年

本日の内容

1. 大学院とは
2. 院試の概要
3. 最初に手を付けること
4. 勉強方法・スケジュール
5. 質疑応答

本日の内容

1. 大学院とは
2. 院試の概要
3. 最初に手を付けること
4. 勉強方法・スケジュール
5. 質疑応答

大学院とは

大学院教育について

高等教育局高等教育企画課."大学院教育について".文部科学省.2010 - 12.
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakuin/index.htm, (参照: 2024 - 10 - 09)

大学院は、「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」、「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」、「確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた大学教員の養成」及び「知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材の養成」という四つの人材養成機能を担っています。

- 大学院は、**知識集約型社会における知の生産、価値創造を先導する高度な人材の育成**という、極めて重要な役割を果たしている。

進学するメリット

- ✓ 自分のやりたい研究に専念できる
- ✓ 研究のプロセスを学べる
- ✓ 進路の幅が広がる

私が進学した理由

- 学部時代に始めた研究が楽しく、より詳しく知りたいと考え大学院に進学



本日の内容

1.大学院とは

2.院試の概要

3.最初に手を付けること

4.勉強方法・スケジュール

5.質疑応答

院試の概要

大学院入試

大阪大学大学院工学研究科の場合

推薦入学：学部生の時に優れた成績を修めた学生が受験可能。口頭試問や小論文などで判定。TOEIC等の外部の英語試験が必要。

一般選抜：筆記試験・口頭試問・小論文などで判定。
TOEIC等の外部の英語試験が必要。

令和6年度の大学院入試合格率

合格率	学内	学外
90.32% 858人	77.51% 665人	22.49% 148人

- ・ 合格率は毎年およそ8割から9割程度
- ・ 1割から2割程度は学外からの入学者

一般選抜：筆記試験

必要科目

電気電子情報通信工学専攻の場合

英語（TOEIC等）



基礎科目



専門科目

院試の日程

出願期間

例) 2025 年度 大阪大学大学院工学研究科 博士前期課程 一般選抜

② 出願受付期間： 2024 年 7 月 8 日（月）～19 日（金）（ただし、土日祝は除く。）

【持参の場合】

受付時間： 9 時 30 分～15 時（ただし、11 時 30 分～12 時 30 分は除く。）

受付場所： 工学研究科教務課入試係（U1M 棟<管理棟>1 階）

（書類を封筒等に入れる必要はありません。）

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学工学研究科教務課入試係

（必ず「書留」または「簡易書留」郵便とし、封筒の表に「博士前期課程入学願書」と朱書き）

上記出願受付期間内に郵送により到着したものを受け付けます。

7月8日 – 19日の平日

- ✓ 年によって違うので要注意
- ✓ すべての書類をそろえてこの期間内に提出
- 募集要項は早めにチェック！

試験の日程

8月20日前後の2日 - 3日間

例) 2025 年度 大阪大学大学院工学研究科 博士前期課程 一般選抜
電気電子情報通信工学専攻

- ✓ コースによって日程が少し異なる
- この日程に合わせて勉強しよう！

8 月 20 日（火）	9:30～12:30	基礎科目
	14:00～16:00	専門科目
8 月 22 日（木）	9:00～	口頭試問

本日の内容

1. 大学院とは
2. 院試の概要
3. 最初に手を付けること
4. 勉強方法・スケジュール
5. 質疑応答

最初に手を付けるべきこと

1. 募集要項確認

日程確認

提出書類の確認や出願期間・試験本番の日程の漏れが無いように

試験科目確認

勉強する範囲を把握、英語試験の有効期限などもチェック

2. 過去問入手（出来れば解答も）

HPから入手

過去5(6)年分の過去問は工学研究科のHPから入手可能

研究室の先輩、友人から入手

さらに過去の問題や解答なども入手できると◎

過去問をみて傾向をとらえる

軽く目を通して出題傾向を掴む

本日の内容

1. 大学院とは
2. 院試の概要
3. 最初に手を付けること
4. 勉強方法・スケジュール
5. 質疑応答

勉強する科目の選定

科目 例) 2025 年度 大阪大学大学院工学研究科 博士前期課程 一般選抜 電気電子情報通信工学専攻
量子情報エレクトロニクスコース

基礎科目

- (1) 数学 (2) 電磁理論
- (3) 電気電子回路

基礎科目	(1) の () 内から 3 題、(2) 及び (3) の () 内から 2 題、合計 5 題を試験時に選択 (願書に記入不要)	
	(1) 数学	(微積分、線形代数、微分方程式、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計) から 5 題出題
	(2) 電磁理論	(静電界、静磁界、時間的に変化する電磁界の基礎、電磁界中の荷電粒子の運動) から 2 題出題
	(3) 電気電子回路	(線形回路の定常解析、線形回路の過渡解析、回路理論の諸定理、電子回路の基礎 (増幅回路、フィルタ回路)) から 2 題出題
(注意) (2) 電磁理論及び (3) 電気電子回路から合計で 2 題選択		

専門科目

- (1) 制御工学 (2) 信号処理
- (3) 量子電子物性

専門科目	(1) ~ (3) 3 科目 (合計 5 題) から 3 題を試験時に選択 (願書に記入不要)	
	(1) 制御工学	(1 題出題)
	(2) 信号処理	(1 題出題)
	(3) 量子電子物性	(量子論基礎、金属、半導体物性、誘電体・磁性体、半導体デバイス) から 3 題出題

全科目を解く必要はない

例年数学解析から3題

基礎科目 (1) : 線形代数、微積分、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計
計5題から3題選択

基礎科目 (2) (3) : 各2題、計4題から2題選択

専門科目 (1) (2) (3) : (1)、(2) は各1題、(3) は計5題から3題選択

勉強する科目を絞る

勉強方法・スケジュール

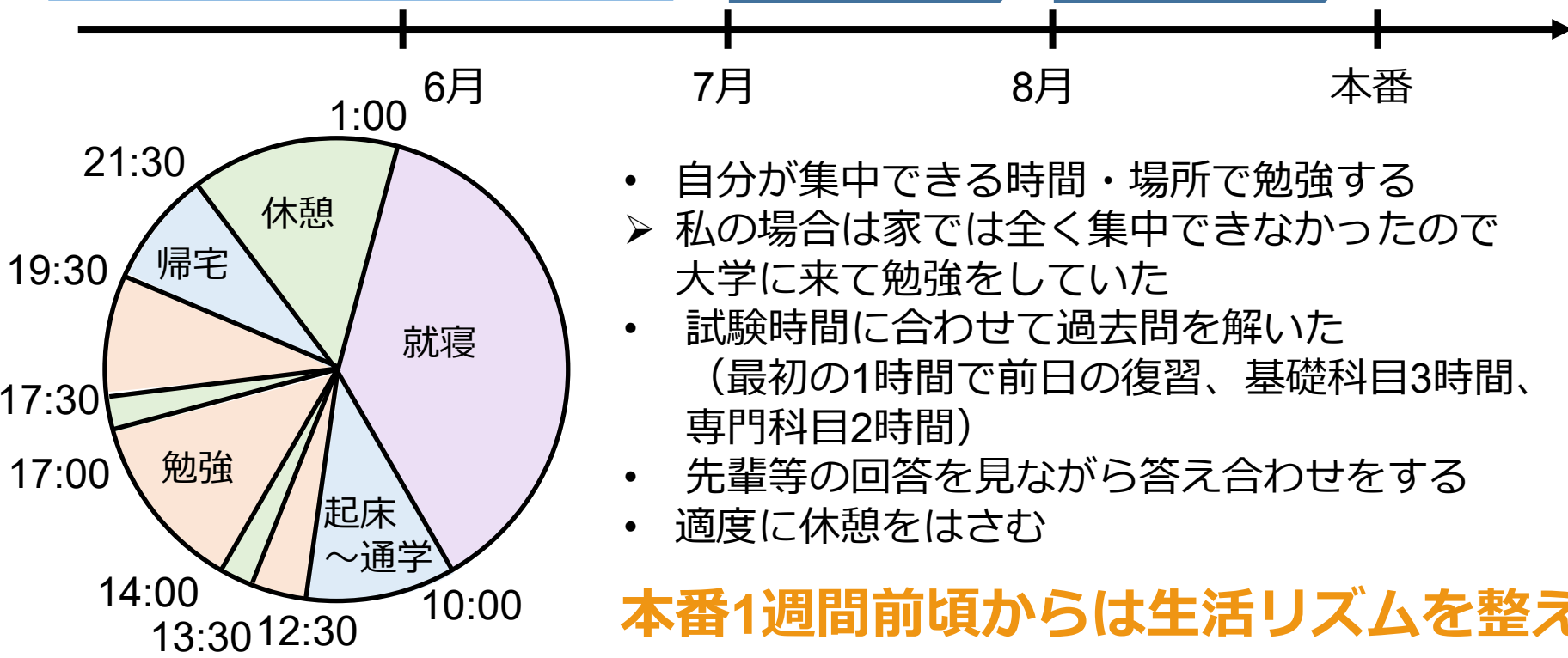
勉強する科目を絞って勉強開始
早ければ早いほど後が楽に
遅くとも6月頃には手を付け始めたい

7月頃から過去問を解き始める
早く始めていれば前倒しすると○
古いものから手を付ける

基礎固め（教科書読み、演習）

過去問
（古いもの）

過去問
（直近5年分）



- 自分が集中できる時間・場所で勉強する
 - 私の場合は家では全く集中できなかったので大学に来て勉強をしていた
- 試験時間に合わせて過去問を解いた
（最初の1時間で前日の復習、基礎科目3時間、専門科目2時間）
- 先輩等の回答を見ながら答え合わせをする
- 適度に休憩をはさむ

本番1週間前頃からは生活リズムを整える

今のうちにやっておくと良いこと

- 外部の英語試験の勉強・受験
(必要があれば)
- 募集要項の確認
(年度がかわって今年度の募集要項が見られるようになったら再度チェック)
 - 様々な日程を把握する・勉強する科目を絞る
- HPから過去問のダウンロード
(今ダウンロードすれば1年分多く勉強可能)
- (余裕があれば) 院試の勉強を始める
(最優先は今の単位)
 - 教科書などを読み返す・演習問題を解く